

# 経営比較分析表／団体全体（平成30年度決算）

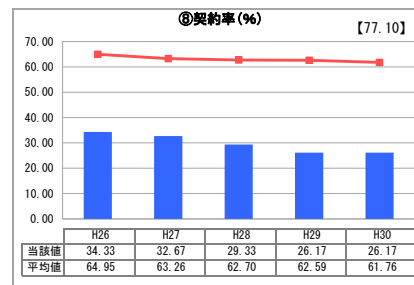
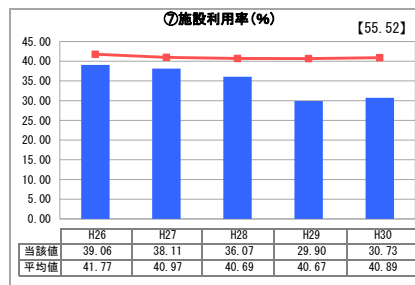
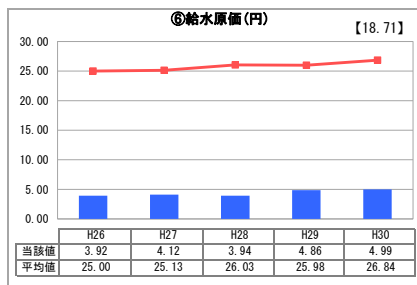
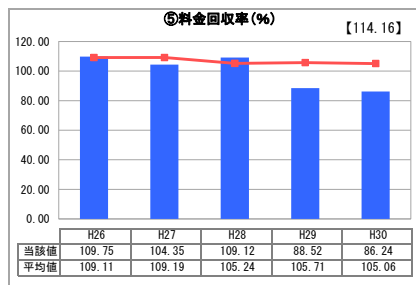
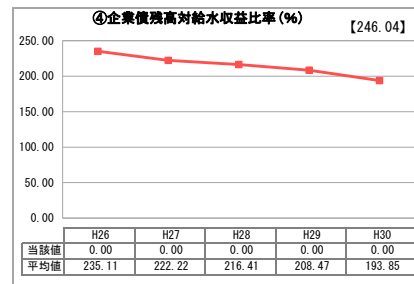
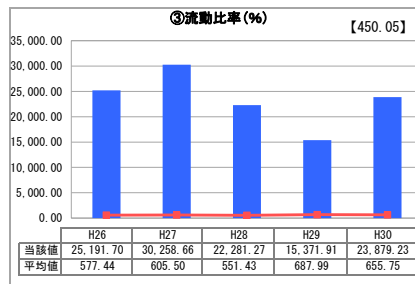
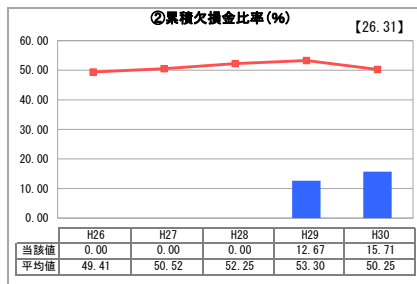
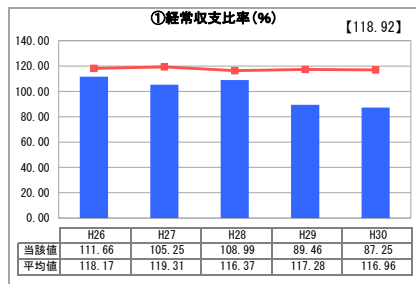
富山県 高岡市  
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m <sup>3</sup> )
法適用	工業用水道事業	60,000	中規模	1	18,435
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	管理者の情報	
-	95.1	3	15,700	自治体職員	

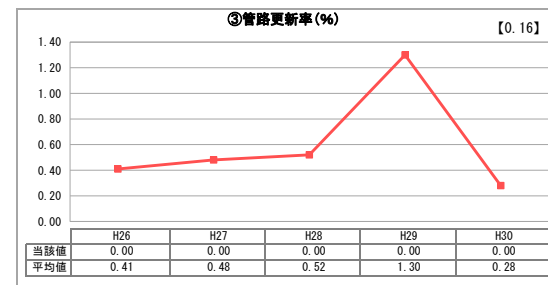
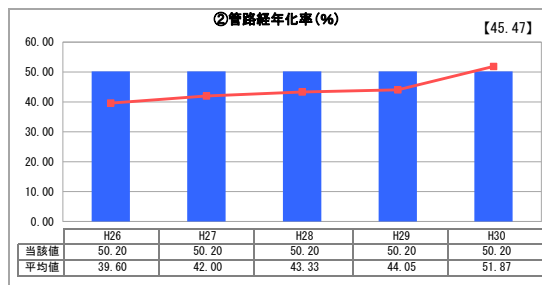
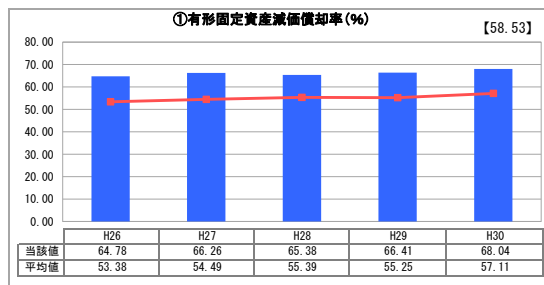
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ・ 経常収支比率及び料金回収率は、供給水量の減少に伴う給水収益の減収、減価償却費の増加により、100%を下回っている状況にある。今後、料金水準の見直しなど経営基盤の強化を図る必要がある。
- ・ 累積欠損金比率は、全国平均を下回っているものの、2年連続で累積欠損金を計上するなど経営状況が悪化していることを示している。
- ・ 流動比率は、一年以内の短期債務に対して十分な支払能力がある。
- ・ 企業債残高対給水収益比率は、企業債残高はないため良好な状況である。
- ・ 給水原価は、供給単価を上回っていることから、さらなる経費節減や供給単価の見直しが必要である。
- ・ 施設利用率や契約率は、供給先事業者における水のライフサイクル化などにより、水需要が減少しており、全国・類似団体平均を下回っている。

### 2. 老朽化の状況について

- ・ 有形固定資産減価償却率は、年々上昇傾向で推移しており、施設の老朽化が進行していることを示している。
- ・ 管路更新率は、法定耐用年数を超えた管路は存在するが、更新に至っていない。今後、事業運営の在り方を踏まえて、検討していく必要がある。

## 全体総括

・ 経常収支比率や料金回収率100%を下回っているため、経営状況は健全であるとは言えない。現在は、収支不足については、利益積立金を取り崩し補填している状況である。いずれ利益積立金も底をつくこととなるため、今後、経費節減や料金水準の見直しを検討していく必要がある。さらには、事業運営の在り方についても併せて検討していく必要がある。